

PA-303J 構成 ¥52,000 (¥40,000 コントローラ無)

2チャンネル, 2チャンネル&既設ウーファー

小形サウンドコントローラ (不使用可)



¥12,000

旧PA504シリーズ互換接続キット

メインケーブル

¥5,000

中継コネクター

¥3,000

システムインターフェース ¥8,000



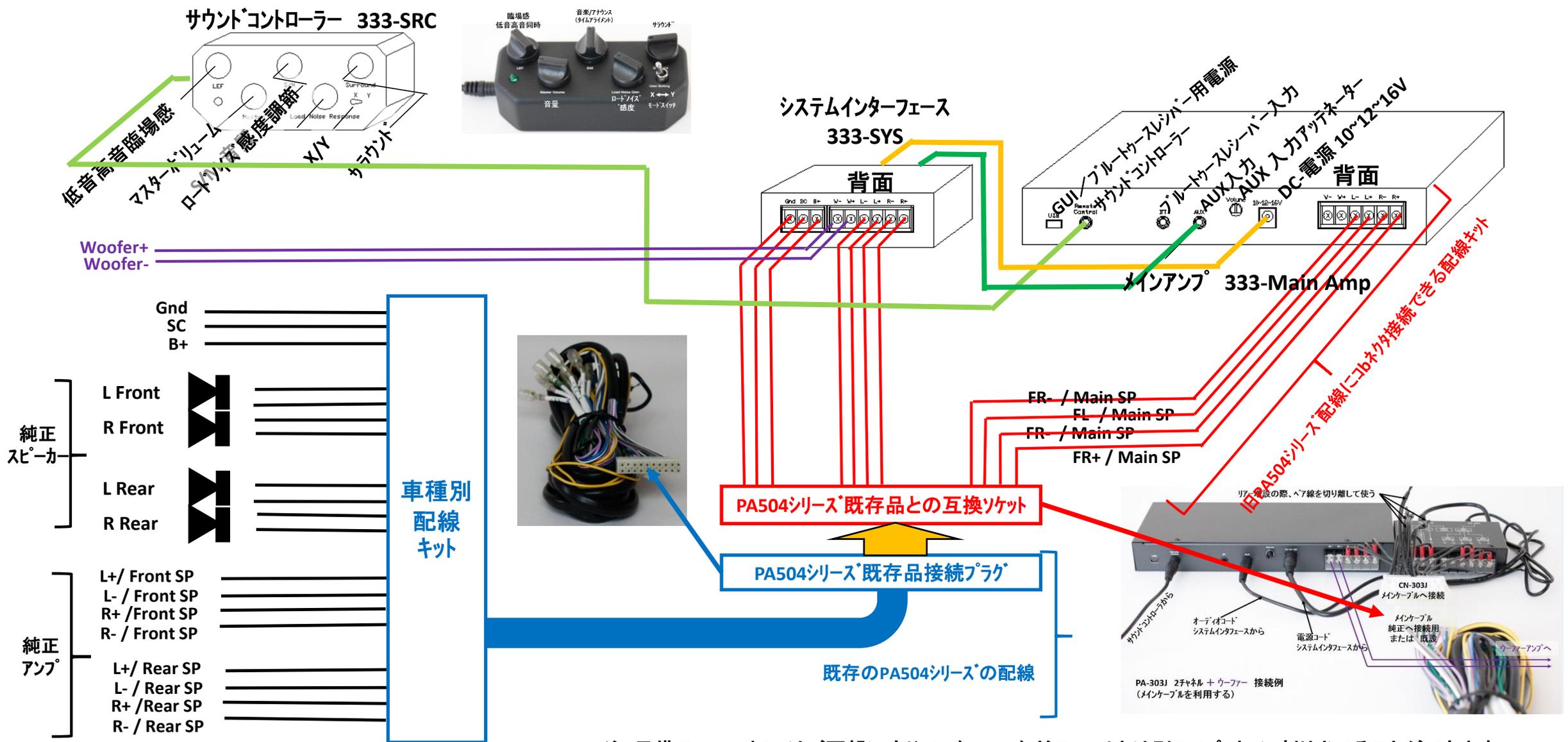
メインアンプ ¥24,000



接続コード一式付属

価格は税送抜き ()はサウンドコントローラを除く価格

旧PA-504, 504(G, G2, S2, S3, R2, R3, Z, Z2) と互換 2チャンネル & 既設ウーファー PA-303J 構成と接続



注: 予備の 1チャンネル はご要望に応じて、ウーファーなどのフロントとは別のスピーカーに割り当てることができます。

リア増設の際、ペア線を切り離して使う



サウンドコントロールから

オーディオコード
システムインターフェースから

電源コード
システムインターフェースから

CN-303J
メインケーブルへ接続

メインケーブル
純正へ接続用
または 既設

ウーファーアンプへ

PA-303J 2チャンネル + ウーファー 接続例
(メインケーブルを利用する)

PA-303J 2チャンネル & ウーファー接続コード一覧

CN-303J 中継コネクタ



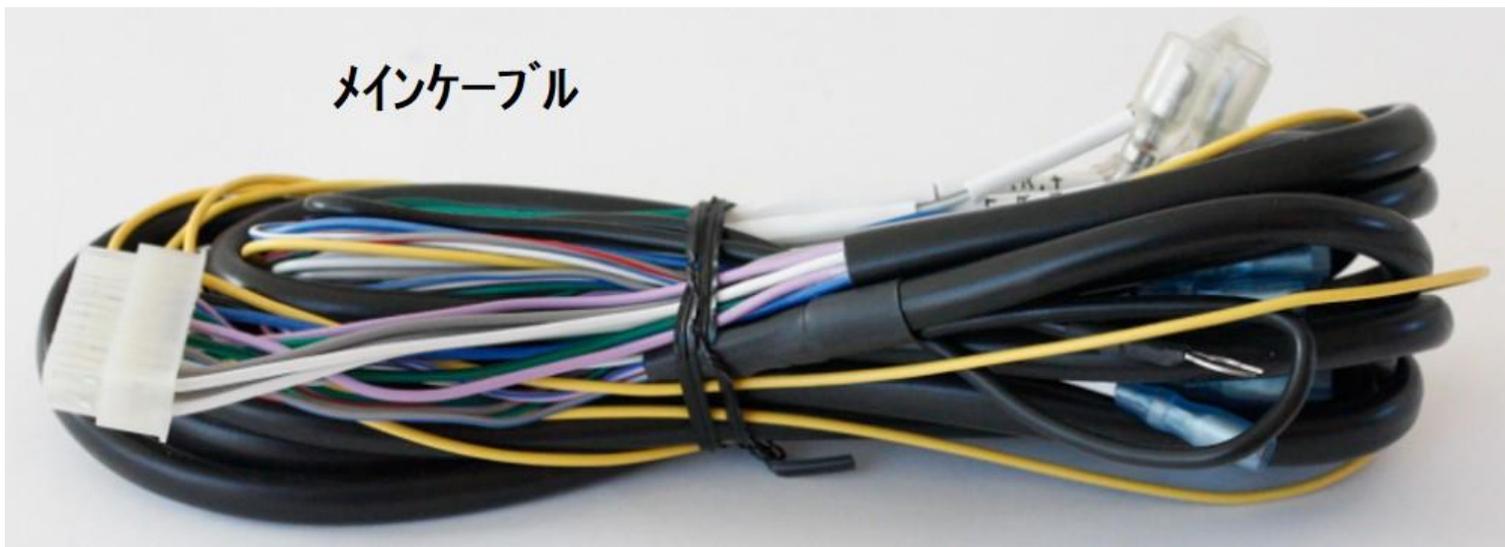
既設ウーファー接続コード



電源 接続コード



メインケーブル



オーディオ 接続コード



使い始めの推奨調節方法について

メインアンプのおすすめ状態



小形サウンドコントローラ



参照ウェブサイト (右QRコード) J-soundscience
問い合わせ先 web_supportsoundscience.co.jp 088-644-2222

サウンドコントローラが接続されると、サウンドコントローラの臨場感調節は、メインアンプの低音と高音の両方を制御します。低音と高音のバランスはメインアンプ側の低音と高音で設定します。左右の音量バランスはメインアンプ側が制御します。

ページ案内



メインアンプ推奨ポジション (青色は、サウンドコントローラ接続時には、制御がメインアンプからサウンドコントローラに移行)

音量(白)	低音(赤)	高音(青)	L/Rバランス(白)	S/M 音質 (*タイムアライメント)(赤)	サラウンド(青)	ロードノイズ感度(赤)	モード選択	モード制御
	最大	12時		12時(スピーチ/音楽 自動音質制御) (7時:手動音楽音質), (5時:手動アナウンス音質) タイムアライメント:モード選択を9時とし、モード制御Y(右)5秒後にタイムアライメント調節モードとなる。モード制御をX(左)に戻すと、タイムアライメントが記憶される。				
10時	サウンドコントローラ接続の場合、低音と高音の最大値となります。		12時		9時	11時	3時	X側(左)

調整手順 (青色は、サウンドコントローラ接続時には、制御がメインアンプからサウンドコントローラに移行)

1. 音場	2-1. LRバランス	モノラルアナウンスを再生	前方正面から聴こえるよう L/R を調節
	2-2. タイムアライメント	モノラルアナウンスを再生	モード選択スイッチ:9時、モード制御スイッチ:Y側(右) → 5秒後に減灯 → タイムアライメント調節モード 2-1. 正面方向に音像がシャープに感じるよう、タイムアライメント(S/Mと共用)を調節 その後、モード制御スイッチをX側に戻す。モード選択スイッチを3時に戻す。 → 永久記憶される
2. 音質	3-1. 低音(赤)	録音の良い楽曲を小音量で再生	小音量でも、低中高音のバランスを心地よく感じるよう、低音と高音を調節
	3-2. 高音(青)		
3. 音質	サウンドコントローラ接続時	サウンドコントローラからは、LEF(臨場感)調節で、低音と高音を同時に調節。低音と高音のバランスはメインアンプ側で調節	
4. サラウンド(青)	好みのサラウンド感に調節 (楽曲によって効果に違いがあります)(モノラルに対してサラウンド効果はありません)		
5. ロードノイズ感度(赤)	停車中に適度なリスニング音量にセット → 車を走行させ、走行時のロードノイズに対して、最適な音質音量に調節。 ! 運転最優先! 停止中に効果はありません。慣れないうちは、ロードノイズに対応した音量音質が最適であるかどうかの確信が持てません。 特に気にすることなく、停止中に上げてみたり、下げてみたり、その後の走行で確認します。数回の調節で最適になります。		
6. モード制御	X側(左):Dサウンドシャキットの効果(基本音質, 微小音量時の音質, ロードノイズ対応音量音質, アナウンス検出)がオン。Y側(右)はオフ		

16ポジションのモード選択スイッチの割り当て

ポジション	用途
	セカンドオーディオ標準
	タイムアライメント調節モード
	純正音質改善 (セダン用)
	純正音質改善 (ツーボックス用)
	純正音質改善 (ワンボックス用)
	5秒後にウーファの位相を反転記憶
その他	ユーザー要望拡張用

設置手順と方法 純正音質改善モデル PA-303J

1A		
2A	サウンドコントローラ設置	2-1. サウンドコントローラのコードはとりあえずは垂れ流しにしておく 2-2. ダッシュボードの上または運転席から操作しやすい場所にサウンドコントローラを取り付ける
3A	そのほかのユニットの設置場所の決定	3-1. メインアンプ: 座席の下 3-2. システムインターフェース: メインアンプの側近
4A		
5A	サウンドコントロールコードの仕舞い込みとサウンドコントローラへの接続	5-1. サウンドコントローラからメインアンプのRCジャックに向けて接続線を延ばす 5-2. 配線経路で、コードが見えないように、{車の構造物と構造物の隙間にコードを埋め込む} {マットの下に仕舞い込む} 配線経路で、コードが足元や手元にはみ出ることがないように、配線 5-3. 配線の仕舞い込みが終われば、サウンドコメインアンプの RC 入力 へ、奥までしっかり差し込む
6A		
7A	中継ソケットのシステムインターフェースとメインアンプへの接続	中継ソケット CN306J の矢型端子の; 7-1. { B+, Gnd, Acc } をシステムインターフェース2セットそれぞれの { B+, Gnd, SC } へ接続 2セット目のシステムインターフェースの { B+, Gnd, Acc } へは両端矢型端子の線で、並列接続 7-2, From Amp の フロントの { L+, L-, R+, R- } を フロント側システムインターフェースの { L+, L-, R+, R- } へ接続 7-3, to Speaker の フロントの { L+, L-, R+, R- } を フロント側メインアンプの { L+, L-, R+, R- } へ接続
8A	システムインターフェースとメインアンプの接続	フロント側システムインターフェース と フロント側メインアンプの; 8-1. Power Out と DC電源入力 を付属の電源コードで接続 8-2. Line Out とAUX入力 を付属のオーディオコードで接続
9A		
10A		

1B	エンジンを起動する前の確認	<p>1B-1. サウンドコントローラコードからの接続線がメインアンプのRCへ接続されていることを確認</p> <p>1B-2. メインアンプのモード切替スイッチが4時（右向き水平方向から右回りへ一段（または2段）（まf田は3段））</p> <p>1B-3. メインアンプと小型サウンドコントローラのスナップスイッチが左側</p>
2B	エンジンを起動して電源系統の確認	<p>2B-1. サウンドコントローラの緑ランプが数秒間点滅の後、連続点灯 （点灯しない場合はメインアンプの緑ランプの点灯を確認 → → 点灯していればサウンドコントローラとメインアンプの接続を再確認） （メインアンプの緑ランプが点灯していない場合 → → 電源コードの接続を確認）</p>
3B		
4B		
5B	純正システムの再生音の ダイナミックサウンドシャキットでの再生を確認	<p>5B-1 純正側の再生音量を最大値の1/3程度とし、ダイナミックサウンドシャキットから、音量を制御できることを確認</p>
6B	操作ツマミの機能確認	<p>6B-1. 各種ボリュームとスイッチの状態の確認（以下、時刻表記は時計の短針の位置に相当）</p> <p>Master Volume: 音量調節, Bass Tone: 低音調節（推奨 10時～11時）</p> <p>* Bass Tone: 低音調節（推奨 10時～11時）</p> <p>* Treble tone: 高音調節（推奨 10時～11時）</p> <p>** L/R Balance: アナウンスと音楽の音質調整の自動と手動の兼ね合い（中央は自動, 左ほど強制音楽, 右ほど強制アナウンス） （タイムアライメントの設定と共用です）</p> <p>Surround: 音場の左右の広がり感の調節（通常 9時～10時）（モラルの楽曲には効果はありません）</p> <p>Load Noise Response: ロートノイズ対応音量音質の調節（推奨 11時）（車体、設置条件、好みによって満足な状態にセット） （注意：運転に支障のない範囲で行ってください。特に、慣れていない間はパーキング中に操作）</p> <p>*** Mode: 各種設定のための16通りの切り替えスイッチ（通常はポジション3時の位置）、スナップスイッチ: X側（左）</p> <p>タイムアライメント: モラル信号（ラジオ放送）を再生、ポジションを9時、スナップスイッチをY側（右側）とし、5秒経過後、S/Mのツマミで音の方向調節、スナップスイッチをX側（左）に戻す</p> <p>* : 小型サウンドコントローラのLEFは（メインアンプで設定のBass, Trebleの比率で）低音高音同時可変となる</p> <p>** : L/Rバランスは常時メインアンプ側で設定 小形サウンドコントローラ側からの制御はできない</p> <p>*** : Modeは ロタリスイッチは常時メインアンプ側で設定、小型サウンドコントローラ側からの制御はできない</p> <p>6B-2. 補足説明; L/Rの音量バランスはメインアンプ側で調整（サウンドコントローラからは調整できません） サウンドコントローラを接続した状態で、メインアンプの低音と高音の調整は、低音と高音の比率を決定します メインアンプで設定された低音と高音の比率のまま、サウンドコントローラのLEF（臨場感）調整ボリュームで音質を調整します</p>

7B	純正システムの再生音を適正な音量で再生する設定	<p>7B-1. 聞き慣れた楽曲 や 低中高音でバランスの良い楽曲を再生 ー ー ー 適正音量音質、好みの状態に調節</p> <p>7B-2. 左右の音量バランスの調節: ニュースを再生し、音が正面から聞こえるようL/R Balanceを調節 (右ハンドルの場合、11時前後)</p> <p>7B-3. タイムアライメントの調節: ニュースを再生し、MODE 0, スナッフスイッチ 右Y側、5秒後 S/M Tone を回し、音が正面から聞こえるよう調節、スナッフスイッチを左X側に戻す</p> <p>7B-4. サラウンドの調節: 好みの状態に</p>
9b	パーキング中での音質確認	<p>8B-1. ダイナミックサウンドシャキットのマスターボリュームを10時とする</p> <p>8B-2. ダイナミックサウンドシャキットの再生音量が適正音量となるよう、純正システムの再生音量を選択</p> <p>8B-3. その後の再生音量はダイナミックサウンドシャキットのマスターボリュームで調節 (ダイナミックサウンドシャキットの再生音が { 歪む、音割れ } ー ー ー 純正側音量を下げる) (ダイナミックサウンドシャキットの再生音に { チリチリ、ザザ } とノイズが入る ー ー ー 純正側音量を上げる)</p> <p>8B-4. 純正側で再生したい場合はジュニアサラウンドシャキットの音量を絞りと、純正側の音量を上げる。</p>
8B	走行中での音量音質確認	<p>9B-1. 停止中、常々聞いている音量にセット</p> <p>9B-2. 走行中、最も右のロードノイズ対応音量音質調整ツミで、 走行速度や路面状態によって大きく変化するロードノイズの中で、最適音量音質に調節 (その後は固定) 一度設定しても、慣れの度合いによって、さらに自然にしたい、と感じます。その時は再調節します。 何度か試みて最適のポジションを選びます。 (注意: 慣れない間、運転中の音量が気になりますが、運転を最優先にしてください) (注意: 楽曲によって、放送は電波の状態によって、音量が変わります。この場合はマスターボリュームで調節します)</p>
10B	アナウンスと音楽の音質確認	<p>10B-1. S/M Tone のツミを12時とし、楽曲とアナウンスとの再生音質を比べます。 12時の位置はアナウンスと音楽の自動判定による自動音質制御です。 音質を自動ではなく手動選択にしたい場合、 12時から左に廻すほど手動での音楽向きの音質になります。 中間は固定の { 音楽音質またはアナウンス音質 } と自動とを案分します。12時に近いほど自動調節に任せます。 (自動の場合、映画や天気予報など、BGMが入っていると、音楽音質傾向になります。)</p>
11C	各操作ツミの有効的な使い方	<p>目を向けなくても、指先の感覚で場所と角度を調節できるように。</p> <p>11C-1. マスター 必要に応じて都度操作。</p> <p>11C-2. Bass Tone, Treble Tone 好みの低音感と高音感にバランスよく調節 (メインアンプ側で設定、小型サウンドコントローラ側からは双方同時)</p> <p>11C-3. LEF 楽曲の臨場感を調節 (メインアンプ側で設定された低音と高音のバランスのままそのミックスされた臨場感の調節)</p> <p>11C-4. Surround 好みによって、楽曲によって、左右の広がり刊を調節。録音状態によっても効果が異なります。 モノラル放送の場合は機能しません。</p> <p>11C-5. Load Nose Response 走行騒音中での快適なリスニングを提供する機能です。 数回の調整で、最適の状態にセットできます。</p>

ご使用に際して

運転中のリスニングで、

前方から音が聞こえること、

ロードノイズに対応して音量音質が最適状態に自動調節されること、

コントロールの操作ツマミが多いこと、

など、これまでのカーオーディオとは音質の感じ方や操作方法が大きく違います。

数回の運転で慣れますが、

使い始めはくれぐれもご注意くださいまして、運転に集中くださいますよう。

いろいろな楽曲でお試しくださいますよう。

何かと、お気づきの点がありましたら、下記までご連絡くだされば、と存じます。

サウンドサイエンス株式会社

郵便番号 770-8041 徳島市上八万町西山436番地

0886-44-2222

web_support@soundscience.co.jp